ハングル講師

悩み

私は、週に1回木曜日の夜 (pm7:00-8:20) に 尼崎の中央北生涯学習プラザ (2019年4月1日 中央公民館を建て替えて開館) のグループ「韓 国語ハナ」でハングル(韓国語)を教えています。

しかし、昨年はコロナのために休講が続きました。この3月に第3波もおさまったと見て再開しましたが、また感染者が拡大するリバウンドが起こり、兵庫県は変種も多いそうで再び講座を閉じようかと悩んでいます。

学習

そもそも、私はいつからハングルを勉強し始めたのか?

ずいぶん昔の事です。1975年4月と記憶しています。この5月6日に移転する神戸学生青年センター(以下、「センター」という)の「第1期朝鮮語講座」に参加したのが最初と思い込んでいました。しかし、部屋の整理をしていたら「KBS韓国語講座」のボロボロの教科書が出てきました。それもハングルが読めないのでカタカナでルビを打っていました。あまりにも古いので捨てました。多分、1974年春にソウルに観光旅行してから韓国に興味を持ちラジオでKBSの日本語国際放送を聴いていたようです。

センターの朝鮮語講座では佐久間先生から教えていただきました。1年ごとに中級、上級と進級して、ソウル留学帰りの兪澄子(ユ・チュンジャ)先生、宋連玉(ソン・ヨンオク)先生、金静美(キム・ジョンミ)先生から教えてもらいました。

その期間に最も大きな刺激を受けたのは、1979年夏、早稲田奉仕園主催で韓国の全羅北道 裡里〔イリ・現在の益山(イクサン)〕市で開かれた「第 3回 韓国語夏期集中講座」に2週間ほど参加し た事です。堀内さん、鹿嶋さん、黒田さん、仲 村さん、八巻さんたちと一緒でした。観光旅行 ではなく、旅館に泊まりこんで、毎朝授業に出 るのは楽しかったです。その時のパートナーで 知り合った林縕圭(イム・オンギュ、後に、釜

山根 俊郎

山外国語大学日本語科教授)さんとは、今も付き合っています。張徳熙(チャン・ドクヒ・若い中学校の女性国語教師) 先生の発音で「歌=노래(ノレ)」が、「도래(ドレ)」にしか聞こえなかった。全羅道なまり(サトゥリ・사투리)なのか?と思ったがし→には舌先を上の歯茎につける同じ発音をするのでそう聞こえる理屈が最近になってようやく分かった。それに初音は濁らないはず。

以後、センターの朝鮮語講座の受講は、飛び飛びになる。1983年上級、先生不明。86年上級、李景珉 (イ・ギョンミン) 先生。89年上級、李炳魯 (イ・ビョンノ) 先生、この時にソウル延世大学語学堂帰りの斎藤辰夫さんと仲良くなり、88ソウルオリンピックの後で三宮に韓国スナックが開店し始めたので一緒によく飲みに行くようになった。店には、韓国のカラオケがあり、うれしかった。

1998年に衛星放送のKNTV(韓国総合放送) を見るようになった。その成果を むくげ通信 170号 1998.9.27「韓国TVドラマの興味本位的 研究」にまとめたりもしました。その流れで1999年上級に1年間だけ復帰しました。

通訳

1997年~1999年には、忠清南道 瑞山 (ソサン) 市の韓瑞 (ハンソ) 大学の老人福祉学科の女子大学生たちが尼崎の特別養護老人ホームに研修に来たので通訳をしました。その時、「介護」をハングルでどう訳するか?漢字読みのケーホ(개호)は通じない。看護 (カンホ・社호)が通じた。韓国のTVでおばあさんが孫を昼間に面倒を見ることをトルボム(돌봄)と呼んでいたので最近はこれを使っています。他動詞 돌보다 (トルポダ) 1. 助ける、2. 世話をする の名詞形です。1990年代の六島市長の時代は、来賓の表敬訪

問の通訳を何度かした。 2000年代になると小西先生から依頼を受けて 西宮の高校生同士のTV会議の日本側通訳をし

た。韓国側の通訳は日本に来ている留学生がやってくれたので楽でした。謝礼もくれて 一杯飲ましてくれたのが良い息抜きになりました。

学習再開

私は、2011 年 3 月末に満 60 歳で 37 年間 勤めあげた尼崎市役所を定年退職しました。

私は韓国旅行も自由に行けるので自分はハングルを完璧にできると慢心が生まれていました。2012年11月20日に旧知の尼崎の特別養護老人ホーム園田苑理事長の中村大蔵さんから韓国の医療生協の団体が来るので通訳を頼まれました。お客さんは、30数名なので私ともう1人の2人で分かれて通訳をしました。説明は完璧?にできましたが、韓国人が話す質問が全く聴き取れない。言い知れない挫折感を感じました。

「よし、もう一度、ハングルを習おう!」と 決心しました。

そして、2013年1月からセンターの金曜日午前の会話クラスに編入して林賢宜(イム・ヒョンウィ・女性)先生に師事しました。

林賢宜先生は、年齢も私たちに近く、ソウル 鐘路で育ったそうで綺麗で上品なハングルを話 されました。在日韓国人の旦那さんと結婚され て男のお子さんが二人いらっしゃいました。実 家はお父さんが亡くなられて米国に移民された。

韓国語の教師よりも韓国料理を教えられる方が得意のようであった。

センターのハングル教師も久しぶりに 2012 年4月から再開されたところであった。私が入った時は、韓国のPHPのような雑誌のちょっと良い話などをコピーして読んだり、会話のために食堂のシチュエーションで会話をしたりしたが、安定しなかった。生徒も夜より昼の方が出席しやすいという高齢者男性・主婦など5,6名であった。実力も大したことはなかった。

授業の形が決まったのは、2013年1月25日。 この日から宿題の「韓国語で書いた日記」を発表する授業が始まりました。私の第1回の作品は、1月17日「追悼と散髪」をA4で1枚手書きしている。各自がコピーして全員に配り、声を出して読んで発表する。林賢宜先生が原稿を赤字で添削して返してくれるやり方です。

私は、初回から手厳しい直しを受けました。 「三宮の韓国スナック」

「산노미야 의 한국술집」 ×

→ 「산노미야 에있는 한국술집」○

場所を表す日本語の安易な「の」は、ハングルでは存在しない。「예 있는=にある」と表現する。

最初は、手書きで書いていたが、4月11日「散策」からパソコンで印字している。

3月7日「確定申告」では、誰もが間違う 「1時間も」「한시간도」×→「한시간이나」○ 私の傑作は、2013年7月18日「幼稚園の思 い出」ダンスする遊戯で若い女の先生と手を取 って踊れると期待していたのに順番がお婆さん の園長先生に当たり泣き出してしまった思い出。

2014.11.7 FACEBOOK 開始

2015.3.6 スマートフォンに替えました。

2015.8.20 東京で「解放の歌 コンサート」

2016.3.18 カカオトーク開始

2016.7.22 白内障手術

2017.5.19 始祖タクハンマリ

自分史としても資料的価値の高い記録です。

結局、講座をやめた 2017 年 6 月 23 日「栓抜き」までなんと 126 作品を創作しました。

この作文の訓練は、PC の NAVER の辞書を 使ったので語彙が増えて瞬発力が付きました。 カカオトークで韓国の友人からメールがきても (スペルが間違っていても) 直ぐに返事を書け るようになって、自信がつきました。

ある生徒の発案で形容詞を使った短文(1行)を5ケずつ作る宿題も追加されました。先生が毎回5ケの形容詞を가나다라順に出題された。私は本文が短くできるメリットがあるが、使わない単語も多いので覚える気にはならなかった。

午前 10 時から 12 時までの 2 時間の間が持たなかったら先生に韓国料理の話をせがめば、いくらでも話してくれて、私たちも韓国料理の知識が増えました。実際、海苔巻き(キムパッ・ 召皆)を先生の料理教室で作って食べたりして楽しかったです。食堂にランチを食べに行き、そこで宿題の発表も行いました。

私は、作文のネタを探すために安いLCCの 航空券で韓国旅行して、お土産もみなさんが喜 ぶ羊羹やお餅、干したタラのちぎったモノ(プ ゴチェ・号어科)、干したイカなどを買いました。

センターの会話クラスは楽しかったが、宿題 日記のアイデアが枯渇して、高齢のため体力的 にもきつくなったので 2017 年6月末に4年6 か月通ったセンターの会話クラスを辞めました。

講師を始める

センターの会話クラスを始めた1年後の2014年3月初旬に尼崎市役所の元同僚の白樫さんから「中央公民館でハングルを教えませんか?」という話が舞い込んできました。尼崎市に恩返しもできるし、小遣い稼ぎにもなると思ってOKしました。3月下旬に中央公民館で「韓国語ハナ」の会長小林さん(男性・60歳代)と会いました。会計の旭さん(女性・50歳代)と会いました。

「韓国語ハナ」は、2012年度に公民館事業として「韓国語講座」が韓国人の留学生が講師になって始まり、その後、自主グループになったようです。2013年は総連系の在日女性が講師をして教材は朝鮮学校の教科書を使っているが、会員からは韓国語の会話をしたいとの要望もあり2014年4月から私に講師依頼があった。会員は10名程度。講師謝礼は1回5,000円。

早速、教科書は何が良いか?をセンター職員の朴淳用(パク・スンヨン) さんに尋ねると『瞬訳 日本語→韓国語 韓国語初級編』(HANA 韓国語研究会著 CD 付)を紹介していただいた。

授業は教科書からその日に進む分をコピーして配りCDを流してみんなで読んで私が単語の説明をするという形で進めました。「1講座に爆 笑3回」をめざして楽しい授業を心がけました。

ただし、韓国ドラマに憧れて参加された方が多いので私の文法的な説明は理解できないようでした。3名はついてきてくれました。会長の小林さんは、ソウルで財閥系のS建設で6年間建築技師として勤務されていました。再就職を目指しているが、韓国語の実力が落ちないように通っている。旭さんも最初の留学生講師から文法をきっちり勉強されていました。あと一人は、今の会長の在日2世の高さん(女性・60歳代)でした。民族舞踊を習っています。済州島の親戚に出す手紙の添削をしてあげました。

会員が減ってきたので7月にキャンペーン講座を実施しました。5,6名の受講生があったのですが、「講座アラシ」の中年女性がいました。私の説明に一々食いついて質問を繰り返すのです。経験のない私は「講師を辞める」とすねたので小林さんがその人を追い出してくれました。この時は2名ほど入会してくれました。

私は歌を流したりもしたのですが、2014年8月28日からセンターの真似をして、用言の単語1語を出題して作文を作る宿題を課しました。これは、大当たりでした。みんなただ聴くだけでは面白くないのです。アウトプットしてこそ楽しいのです。7時の講義が始まる前に黒板に書いてもらい私が添削するのです。うまい人には、しっかり褒めました。また、私の説明が不充分なら翌日、センターで林賢宜先生にお尋ねして翌週に回答しました。この作文の宿題は、2018.7.12まで145回を数えました。

もう一つの副教材は、毎月発行の『NHKテレビでハングル講座』の「きょんじゃ先生のなるほど!ザ・ハングル使い分け辞典」のコーナーです。よく似た動詞2ケの内でこの状況ではどちらを使うか? これも人気がありました。

3年も講師をすると、授業内容がマンネリになり、嫌気がさしてきて、2017年4月~8月まで5ヶ月間、例の『カラスよ 屍を見て啼くな』の本を韓国語に翻訳するとして休みました。小林さんがその間、臨時講師をやってくれました。

9月に私が復帰すると、小林さんは燃え尽き たのか、辞めると言い出しました。旭さんも高 麗大学の語学堂に1ヶ月行って宿題の多さに疲 れて、仕事も忙しくなり8月に辞めていました。

真の講師になる

翌 2018 年 4 月から高さんが会長になり、キャンペーン講座を打ちました。福島夫妻とか楽しい人が集まり、会員も 12 名まで盛り返しました。教科書は文法中心の『できる韓国語 初級 I』(著/新大久保語学院・李志映、DEKIRU 出版)を使っています。 2018-2019 年は最高でした。 2018.7.19 から再開した「作文宿題単語」(次ページ参照)も 2021.3.25 に 80 語になりました。



2019.2.14 出屋敷李朝園で新年会(筆者右端)